

ひかりのこ

6月園便り
認定こども園
聖ミエル幼稚園
2023年5月24日

月主題：見つける

「おおきなあれ」

桜が散り、20度を超える気温の日もちらほら。いよいよ初夏の訪れとなってまいりました。

先週の金曜日には、年長のすずらんさんたちが野幌の畑に行って、ジャガイモの種芋を植えてきました。野幌のある江別市は、札幌のすぐお隣の市ですが、自然が豊かで、大きな公園もあり、ゆったりしたとても良い街です。園で借りているジャガイモの畑は、もともとは農家の方が管理していた土地ですので、土がふかふかでとても良い野菜が採れます。ミカエル幼稚園の給食室には、残菜をたい肥にする機械が備え付けてあります。そのたい肥をたくさん撒いて、耕運機でよく耕した畑に、子どもたちはジャガイモを植えました。

幼稚園の園庭の片隅にも、先日ミニトマトを植えました。その中には、給食を作ってくださっている「一富士フードサービス」さんからプレゼントされた苗もあります。今週中には、きゅうりも植えたいと思っています。8月くらいから、園庭で遊んでいる子どもたちが収穫をしたり、食べたりできるようになるでしょう。太陽の光と豊かな土で、ぐんぐん大きくなる野菜たち。

神さまと、お父さんお母さん、先生たちの愛情をたっぷり身にかけて、すくすく大きくなる子どもたち。

子どもたちとの園生活に、ワクワクする園長です。

園長 渡部 良子

キリスト教保育

「思いやりの心そなえ」(聖歌413)

「キリストは、この家の主。全ての食卓の見えざる客、全ての会話の静かな聞き手」というお祈り(あるいは詩)があります。「キリスト」の代わりに「神さま」と書かれています。教会信徒の家庭訪問をすると、この祈りの言葉が家の台所や食卓近くの壁に飾られているのを見かけます。

食卓は、家庭の中心とも呼べる場所です。みんなで共に食卓を囲み、一日の出来事を分かち合う時間が、家族の絆を深める大切な時間であることは間違いありません。

でも、その食卓が必ずしも楽しい、幸せな時間とは限りません。嫌なことがあってむしゃくしゃしていたり、料理がうまくできなかつたり、子どもが苦手なものを食べられずいつまでも片付かなかつたり、独りだけで食べる日があつたり…現実には、なかなか理想の時間にするのは難しいものです。

だからこそ、私たちはあえてその場所にキリストを招きます。どんな状況であってもその場におられるキリストを「見えざる客」として招き、「全ての会話の静かな聞き手」として迎えることで、食卓のひと時を、団らんの時間として祝福してくださることを願うのです。



チャプレン 司祭 上平 更